

様式1

一般競争入札に関する回答書

平成31年3月19日

入札参加希望者 殿

地方独立行政法人宮城県立病院機構

理事長 西 條 茂

(法人印省略)

担当：本部事務局企画経営課 工藤

電話：022-796-1044 FAX：022-796-1046

E-mail：honbu-keiei@miyagi-pho.jp

業務名称：宮城県立循環器・呼吸器病センター医療機器等売却処分

No.	質問事項	回答
1	93MRI 装置の下記書類の画像またはコピーの入手は可能か。  (原産国の安全基準を満たしている証明書であり導入時に必ず付属している書類。)	対応致しかねます。
2	93MRI 装置のグラディエントタイプはNovaDualではなく、Novaで間違いはないか。	Achieva1.5T Nova で間違いありません。
3	93MRI 装置の本体（ガントリ）の年式は何年製か。	2005年9月12日据え付け完了です。
4	93MRI 装置のシステムのチャンネル数は何チャンネルか。	8チャンネルシステムです。
5	93MRI 装置のコイルヘッドの直近の交換時期はいつか。	2016年9月9日に実施しています。

6	<p>仕様書 8その他(3)に記載の検査室は対象物品一覧の“カテ室(検査室)”と“RI 検査室”は含まれるか。</p> <p>また、含まれる場合、78 循環器 X 線診断システム・90 ガンマカメラシステムの本体含むすべての構成品(ケーブル含む)について滅菌処理をする必要があるのか。</p> <p>78 循環器 X 線診断システムについては機械室内の機器の滅菌は不要で良いか。</p>	<p>含まれません。仕様書中「8その他(3)」で対象としている検査室は、臨床検査室や臨床検査室内の洗浄室等を示しています。</p>
7	<p>対象物品一覧の設置管理医療機器撤去後の装置が設置されていた箇所の床、壁、天井の補修は無しで良いか。</p>	<p>設置管理医療機器に限らず、対象物品の撤去に伴う建物の破損等が認められる場合には必ず原状回復して頂きます。</p> <p>また、設置管理医療機器に限らず、対象物品の撤去後に、対象物品が設置されている箇所の床、壁、天井についても、建物を現状のまま継続使用することを想定しているため、最低限度の補修・修繕を行ってください。</p>
8	<p>入札参加資格確認申請書類は書留での提出は可能か。</p>	<p>可能です。</p>
9	<p>93MRI 装置のマグネット型式は F2000 マグネットか。</p>	<p>F2000 マグネットです。</p>
10	<p>MRI 装置の消磁作業の発注は、ご施設様で行っていただけるのでしょうか。</p>	<p>買取人にて実施して下さい。</p>
11	<p>作業日程は、10 日以内の作業であれば、連続で行わなくとも可能でしょうか。</p>	<p>具体的な作業日程については、協議により決定します。</p>
12	<p>MRI 室、アンギオ室の壁開口後の復旧作業については、ベニア張りで宜しいでしょうか。</p>	<p>現状と同程度と認められる、補修・修繕が必要となります。(ベニア張り等による簡易な修繕は認めません。)</p>

13	電気は5月24日まで通電しておりますでしょうか。	通電しています。
14	血液等がついている製品は、燻蒸処理を行うこと、と書いてあるのですが、下見時に、ご施設様が滅菌処理を行うとお聞きしました。そのような認識で宜しいでしょうか。その場合、非感染証明書の書類を頂くことは出来ませうでしょうか。	仕様書中「8 その他(3)」に記載のある通り、買取人の負担により燻蒸処理を行って頂きます。
15	「データ消去作業完了報告書等」の「記載事項」は6(3)①「PC等」、②「医療機器等」、③「再販を想定する医療機器等」の全てに対して報告しなければならないのか？	75番の「循環器X線診断システム」、90番の「MRI装置」、151番の「CT装置」を除く、ハードウェアを含む対象物品全てが対象です。但し、機器ごとの物理的破壊を行う場合のみ、データ消去作業完了報告書に記載できない事項がある場合には、売払人・買取人協議するものとします。
16	データ消去に関してソフトウェアでの消去の場合は外見上変化はないのですが、写真撮影は必要でしょうか？	データの削除方法については、仕様書に掲げた3通りとしますが、米国家安全保障局(NSA)推奨方式以上のセキュリティレベルでのデータ消去及び機器ごとの物理的破壊を行う場合には写真撮影は不要です。
下記からの質問については、現地説明会時の主な質問事項とその回答となります。		
17	対象物品については、一か所に集められているのか。	仕様書中「8 その他(9)」にある通り、引き渡し場所は残置場所となりますので、一か所に集められていません。
18	対象物品の一時集積場所である「外来待合ホール」の養生・保護は必要か。	必要です。
19	建物を破損させた場合の「原状回復」とはどのようなレベルか。	現状と同程度と認められる、補修・修繕が必要となります。
20	MRI装置のヘリウムガスの残量はいくらか。	現地説明会当日時点で、44%です。(但し、引渡日時点での残量を保証するものではありません。)

19	循環器 X 線診断システムの管球の交換日はいつか。	A 管球が平成 23 年 7 月 6 日, B 管球が平成 28 年 10 月 18 日です。
----	---------------------------	---